中国・四国地方：交通網の整備と地域の変化

本州と四国が橋で結ばれて、人や物の流れはどう変わったか



本州四国連絡橋の3つのルート

1. **1988年　児島・坂出ルート**　瀬戸大橋。道路と鉄道が通る
2. **1998年　神戸・鳴門ルート**　明石海峡大橋の開通で全線つながる
3. **1999年　尾道・今治ルート**　島々を結ぶ橋。歩行者・自転車も通れる

人や物の流れの変化

移動の時間が短くなり、本州と四国の行き来がふえる

良い面

通勤・通学や買い物の
範囲が広がる
農産物を早く大都市へ運べる
観光客がふえる

課題

フェリーなどの船の便が
減ったり、なくなったりする
買い物客が大都市に
流れ出ることもある

交通網の整備は、産業や人口の分布にも
影響を与える。

橋のルートの線は位置を示す模式。年は本州と四国の間が橋で通れるようになった年。外側の灰色はほかの地方。